

目指す学校像「一人一人が輝く、楽しい河辺小学校」 ～「向上心」とその基盤となる「自己肯定感」を育む～	
<学校経営方針の重点>	
1 学力向上と主体的な学びの推進	2 豊かな心の育成
3 特色ある教育活動の充実	4 家庭・地域との連携

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善案	学校関係者評価	
							評価	コメント
学力の向上と主体的な学びの推進	各教科の「見方・考え方」の追求に	学習基礎的な環境の整備・授業の基本的な準備・学力の活用	「学ぶ楽しさ」が味わえる授業の追求（河辺小授業スタイルの共通実践、質の高い授業の共通理解、校内研究の活性化、年間継続型授業観察）	A	「授業の充実」最も重視しなければならない項目。保護者のA評価は昨年度から約6%上昇し、児童と共に肯定的評価が90%を超えた。	「学ぶ楽しさ」を味わえる授業を目指し、校内研究等を通して教員の授業力向上のための取組を今後も充実させる。	A	保護者・児童の評価結果から、河辺小独自のスタイルを通して先生方が親身に学ぶ楽しさを教えているものと考えます。学校運営協議会での説明や学校行事への参加を通じて、河辺小学校の先生方の熱心さも伝わります。引き続き学ぶ楽しさを味わえる授業を実践し、河辺小の風土となるよう期待します。
			基礎的・基本的な学力の定着（「はい・立つ・です」等授業規律の共通実践、C・Dテストの実施、河辺ドリル・ステップアップ等の取組、家庭学習の習慣化の方策）	A	基礎的な学力を定着させることが児童の学習意欲の向上とさらなる学力向上につながる。保護者、児童の肯定的評価は昨年度よりさらに高まり、90%を大きく上回った。	今後も、これまで続けてきた河辺ドリル・ステップアップ等の取組を地道に継続していく。	A	保護者の評価が高く、先生方の不断の努力の成果と考えます。小学校6年間は基礎・基本の大切さを習得する時期と改めて認識しました。基本的な動作や習慣化は将来に向けて大事な事柄だと思えます。「はい・立つ・です」などの授業規律の実践が良い取組だと思います。今後も取組の継続をお願いします。
			学習環境の整備・活用（一人1端末を中心としたICT機器「1日1活動」の実施、ICT支援員を活用した年間研修、人的環境の整備活用、校内整備）	A	児童のA評価が昨年度から約7%上昇していることから、一人一台端末や電子黒板などのICT機器の活用が日常化されてきたことが分かる。	デジタルとアナログのバランスを見極めつつ、ICT機器の有効活用にとさらに努めていく。	A	限られた予算の中で環境整備等に適切に取り組んでいると思います。児童が正しくICT機器が使えるような配慮なども考えられており、児童の評価が高いのも良いです。学習環境が整備・活用されていることのありがたさをもっと周知していただければと思います。
豊かな心の育成	「自己尊重の精神」の涵養	信頼関係の構築、人権教育の推進、規範意識の育成、生活指導の充実、いじめを許さない指導・未然防止・早期発見・早期対応、「河辺しぐさ」の指導	信頼関係の構築（学年・専科経営の充実、児童理解一人1取組、教員の人権感覚向上、道徳授業の充実、教師の「率先垂範」や適切な言動、適時的な指導）	A	児童の肯定的評価が昨年度から約9%上昇し、教員の努力が課題の改善につながったと考えられる。	これまで続けてきた具体的な取組を継続し、児童と教員の信頼関係の構築に引き続き努めていく。	A	評価結果は、保護者・児童の期待に応えるように日頃から先生方が真摯に取り組んでいる成果と考えます。学校行事などでお会いする先生方が、私たちに対しても明るく声をかけてくれます。ひと昔前の学校の雰囲気と違うように感じます。C・D評価の児童が19名いることが少し心配になりました。そこにも目を向ける必要もあると思いました。
			人権教育推進・規範意識育成（「ハートフル河辺小プラン」の活動推進、生活指導の充実、いじめを許さない指導・未然防止・早期発見・早期対応、「河辺しぐさ」の指導）	A	人権尊重や規範を守る意識は、社会を生きていく上で不可欠。児童のA評価が昨年度から約10%上昇し、ほぼ全ての児童が肯定的な回答をした。	全ての児童に、人権感覚や規範意識が定着させられるよう、今後も指導の充実を図っていく。	A	継続的な取組による児童の高評価の上昇は、喜ばしい結果です。人権教育の推進と規範意識の育成はとても重要です。利他の心が育つといいですね。河辺しぐさなど、ほぼ全ての児童が意識して生活することができているのは、児童の意識の中に浸透している証拠だと思います。引き続きの取組をお願いします。
			主体性の伸長（特別活動の充実、学校行事の充実（～で育てる）※特別活動（クラブ活動、委員会活動、学級活動、縦割り班活動等）	B	保護者の皆様からは昨年度以上の肯定的な回答をいただいた一方で、唯一この項目だけが児童の肯定的な回答がやや下降した。	児童の主体性を伸ばすため、学級活動やクラブ・委員会活動、縦割り班活動、学校行事の充実に取り組んでいく。	A	保護者の評価は良いのですが、児童の評価は若干低く出ているようです。「同じ学年や他の学年の人と仲良く自分から進んで取り組んでいる」の質問では、なかなか知らない人と話せない児童もいるかと思いますが、個々の性格によることもあるかと思いますが、引き続き児童の主体性を伸ばすご指導をお願いします。
特色ある教育活動の充実	特色をある教育活動の深化	特別体育・支援（個に合わせた指導）の充実	体育・健康に関する指導・体験的活動の充実（体育指導や体育的活動の充実、アスリート教室・各種「体験教室」の実施）	A	保護者の皆様からも高い評価をいただいた。児童のA評価は昨年度から約14%上昇し、児童が自らの取組に充実感をもっていることが分かった。	国や都、市の事業や予算等も有効活用し、本校の大きな特色である体育・健康に関する指導のさらなる充実に取り組んでいく。	A	実際に体験することはとても貴重な経験になり、アスリート教室等で得た知識や経験、感じた雰囲気は児童の将来にプラスになると思います。先生方の適切な指導が高評価につながっているものと考えます。児童も楽しみにしているということで、素晴らしいです。河辺小学校は最高に頑張っていると思います。先生方には大変なご苦労をお掛けしますが、継続的な取組をお願いします。
			青梅学の推進（地域の自然や環境、歴史や文化財等の教材化、御岳・日光移動教室等校外学習の充実、愛鳥モデル校、動物飼育推進校の取組）	A	保護者の皆様からも高い評価をいただいた。児童のA評価は昨年度から約10%上昇し、児童の「青梅学」への意識のさらなる高まりを感じた。	伝統的な取組を継承しつつ、児童の創意工夫も取り入れながら取組の改善にも取り組んでいく。	A	児童の評価が高く、先生方の弛まぬ努力・指導の成果と考えます。河辺小の自慢の取組だと思えます。小さい時から自分の故郷や周辺の自然環境、学校について学ぶことや興味をもつことで、故郷や母校に愛着を持つきっかけになると思えます。地元を愛する気持ちは大切です。青梅は歴史もありまので続けてほしいです。
			個に応じた指導の充実（「ことばときこえの教室」と通常学級の連携、連携型個別指導計画の作成・活用、特別支援委員会を校とした組織的な対応）	A	きめ細かな指導に組織的に取り組んできたことを評価していただき、昨年度同様、保護者の皆様から高い評価をいただいた。	本校最大の特色である「ことばときこえの教室」と「特別支援教室くわのき」を活用し、今後も児童一人一人の成長を支える体制づくりをさらに進めていく。	A	保護者からの評価が高いことから、先生方の普段からの連携・対応が評価に繋がっていると思います。保護者からの相談に対し適切な対応を今後もお願いします。
家庭・地域との連携	家庭・地域との連携	家庭・地域との連携	学校からの情報発信（家庭や保護者への適時的かつ適切な情報発信）※学校便り、学年だより、ホームページ、配布プリント、メール配信	B	保護者の皆様のご意見も活かしつつ、新たな連携方法も導入したこともあり、昨年度同様、保護者の皆様から高い評価をいただいたが、C評価がわずかに増えた。	メール配信の有効活用、学校ホームページの充実、既に試験運用している「欠席・遅刻連絡フォーム」の実施等に取り組む、学校からの情報発信の改善に取り組む。	A	現在、利用できるシステムを積極的に使い、保護者へのタイムリーな情報の発信をお願いします。また、近隣の学校の事例等も参考に、さらに利便性が図れると良いと思います。適時、適切な情報発信は難しく大変だと思いますが、引き続きよろしくをお願いします。
			丁寧かつ組織的対応の徹底（保護者等からの相談等への迅速な対応、必要に応じ学年・生活指導部・特別支援委員会・管理職と組織的に対応、個人面談の充実）	A	保護者の皆様からの多様な相談に、学校として誠心誠意お応えしてきたことで、昨年度以上に、保護者の皆様から高い評価をいただいた。	今後も、学校が組織として風通しよく情報共有しつつ、ご家庭とスムーズな連携ができるよう努めていく。	A	先日、青梅市青少年問題協議会に出席した際、都、市、警察、NPOなど相談窓口が多くあるが、子供のことでの身近な相談先は学校となっていることが多いとの話がありました。保護者も安心して相談できるのが学校との期待の表れが高評価に繋がっていると思います。先生方へ掛かる負担がとても心配ですが、子供と保護者のために今後も取組をよろしくをお願いします。
			教育活動を通じた連携強化（学校行事の充実、学校公開や保護者会の工夫、学校評価・アンケートの活用、地域行事等への参加）	A	学校行事や学校公開などの機会を充実させてきたことで、保護者の皆様からA評価が昨年度から約10%上昇し、高い評価をいただいた。	今後も、児童が自身の多様な機会を充実させてきたことで、保護者の皆様から称賛されたり、認めていただいたりする機会の充実に取り組んでいく。	A	感染症リスクを考え、適切に取り組んできたものと考えます。児童も保護者も地域の方も、学校行事を楽しんでいたことを感じています。運動会、音楽会を振り返らせていただきましたが、全体の進行もきめ保護者のことをよく考え配慮されていると感じました。どの行事も楽しく過ごせましたし、保護者もそう感じられていたのではないのでしょうか。今後も各種行事を楽しみにしています。

※評価について A:よくできた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった